エコアクション21
環境経営レポート

2022年度版

期 間： 2022年11月 ～ 2023年10月

作 成： 2024年1月31日

株式会社 クリーン開発

目　　次

1.事業の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P1～5

2.環境経営方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P6

3.実施体制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7

4.環境経営目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8

5.環境経営計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9

6.環境経営目標の実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P10

7.環境活動の取組み結果と評価ならびに今後の取組み ・・・・・・・・ P10～11

8.環境関連法規への違反・訴訟等の有無 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ P12

9.代表者による評価と見直し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P13

10.資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P14

1. 事業の概要

(1)事業所名及び代表者氏名

株式会社 クリーン開発　　代表取締役 松本信吾

(2)所 在 地

〔本社事務所〕

〒861－6103　熊本県上天草市松島町今泉2279－1

TEL 0969－28－3130　　FAX 0969－28－3133

〔車両置場〕

園部車両置場:熊本県上天草市松島町教良木6504-1

倉江車両置場:熊本県上天草市松島町今泉4176-8

〔倉庫〕

野々川倉庫:熊本県上天草市松島町教良木1581-1

(3)環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者:　　松本 信吾

連　絡　先　:TEL 0969－28－3130

FAX 0969－28－3133

(4)事業活動の内容

一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、土木工事業、石工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、機械器具設置工事業、解体工事業

(5)事業年度

期首 11月　　期末 10月

(6)対象範囲

全組織・全活動を認証・登録範囲とする

(7)事業の規模

設　立　昭和62年5月11日

資　本　金　300 万円

活動規模	単位	2020年	2021年	2022年
売上高	百万円	305	283	259
従業員数	人	30	30	28
事務所床面積	m2	143	143	143
園部車両置場	m2	1,923	1,923	1,923
倉江車両置場	m2	398	398	398
野々川倉庫	m2	240	240	240

(8)有資格者

ごみ処理施設技術管理士	宮本　祐一　他1名
破砕・リサイクル施設技術管理士	松本　信吾　他1名
産業洗浄技能検定　高圧洗浄作業	惣田　一正　他1名
土木工事施工管理技士(1級)	松本　信吾
土木工事施工管理技士(2級)	惣田　一正　他2名
建築工事施工管理技士(2級)	惣田　一正

(9)事業内容の詳細と実績(2022年度)

①一般廃棄物収集運搬

自社排出一般廃棄物	→	収集運搬	→	松島地区清掃センター
・可燃物				185.8 kg
・不燃物				3.0 kg
・古紙類				244.7 kg
・プラスチック類				11.2 kg
・ペットボトル				2.5 kg
・アルミ缶				0.0 kg
合計				447.2 kg

事業所契約一般廃棄物	→	収集運搬	→	松島地区清掃センター
・可燃物				396.29 t
・不燃物				38.95 t
合計				435.24 t

松島地区清掃センター	→	収集運搬	→	一般廃棄物最終処分場
・燃え殻				813.45 t
・不燃物				372.12 t
合計				1,185.57 t

(9)-2事業内容の詳細と実績(2021年度)

②産業廃棄物収集運搬

自社排出産業廃棄物	→	収集運搬	→	天草・リサイクルセンター他
・コンクリート塊				517.09 t
・がれき類				137.98 t
・建設発生木材				175.73 t
・建設混合廃棄物				1.00 t
・汚泥				0.44 t
・廃プラスチック類				31.90 t
・金属くず				1.05 t
・紙くず				0.64 t
・石膏ボード				14.62 t
・ガラス、陶磁器くず				4.95 t
合計				885.40 t

他社排出産業廃棄物	→	収集運搬	→	天草・リサイクルセンター他
・コンクリート塊				2.37 t
・がれき類				2.81 t
・建設発生木材				42.62 t
・管理型混合				63.41 t
・建設混合廃棄物				8.40 t
・汚泥				157.02 t
・廃プラスチック類				156.36 t
・金属くず				80.58 t
・紙くず				2.40 t
・動物の死体				23.78 t
・廃油				31.03 t
・石膏ボード				6.83 t
・ガラス、陶磁器くず				3.91 t
・鉱さい				75.72 t
合計				657.24 t

(10)許可内容

①一般建設業の許可

許　可　番　号	熊本県知事　許可（般－2）第 13621 号
有　効　期　間	令和2年4月10日から令和7年4月9日まで
建設業の種類	土木、とび・土工、石、舗装、しゅんせつ、水道施設、機械器具設置、解体

②一般廃棄物収集運搬業

許　可　番　号	上天環指令第 4 号
有　効　期　間	令和5年4月1日から令和7年3月31日まで

③産業廃棄物収集運搬業

自治体	許可番号	許可年月日	有効期限	積替・保管	取り扱う産業廃棄物の種類
熊本県	04310000152	R4.9.12	R9.7.29	無し	紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、ばいじん、燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、（これらのうち、石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）廃油、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ、ゴムくず、動物のふん尿、動物の死体
				有り	金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類（上記のうち、水銀使用製品産業廃棄物に限り取扱い、廃石膏ボード、石綿含有産業廃棄物、水銀含有ばいじん等、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。） 保管上限 ： 0.54m3　面積 ： 1.4m2
福岡県	04000000152	R3.9.8	R8.9.7	無し	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等（以上3品目については、自動車等破砕物を除く。）燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、鉱さい、がれき類、ばいじん（廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず等、がれき類については、石綿含有産業廃棄物を含む。）
鹿児島県	04602000152	R2.7.21	R7.7.20	無し	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む。）、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ、動物のふん尿

④特別管理産業廃棄物収集運搬業

自治体	許可番号	許可年月日	有効期限	積替・保管	取り扱う産業廃棄物の種類
熊本県	04350000152	R4.9.12	R9.8.15	無し	廃石綿等

(11)運搬車両の種類と台数及び低公害・低燃費車両の導入状況

運搬車両の種類		台数
全保有台数		17 台(100%)
	4t強力吸引車	1 台
	10t強力吸引車	3 台
	3tダンプトラック	1 台
	4t脱着装置付きコンテナ車	2 台
	8t脱着装置付きコンテナ車	1 台
	8t脱着装置付きコンテナ車(クレーン付)	1 台
	8tダンプトラック	1 台
	10t脱着装置付きコンテナ車	2 台
	クレーン付き運搬車	1 台
	塵芥車	1 台
	キャブオーバ	2 台
	軽トラック	1 台
	平成27年度燃費基準達成車	16台(全体の94%)

(12)その他車両・重機

種類	台数
高圧洗浄車	1
0.08m3バックホウ	2
0.25m3バックホウ	1
0.45m3バックホウ	1
営業車両	5

2. 環境経営方針

理　　念

株式会社クリーン開発は、環境に配慮した事業活動を通じて、環境と調和し、且つ、持続的に発展する社会の実現に貢献する。

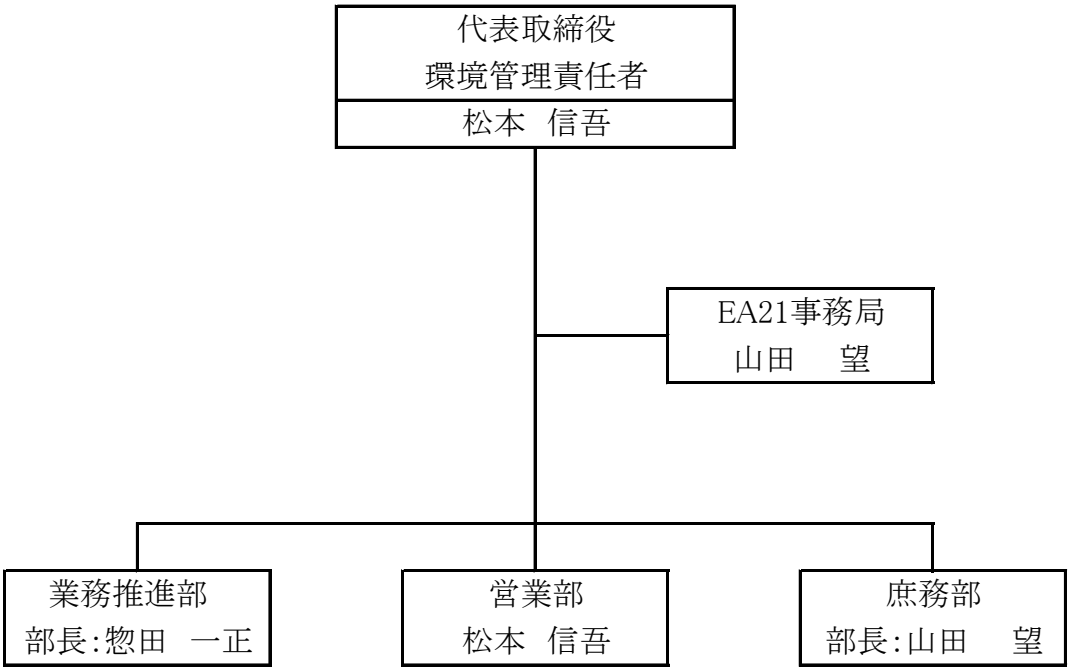
基本方針

株式会社クリーン開発は、廃棄物収集運搬業、解体工事業、土木工事業において、以下の方針の元、環境改善及び保全活動を推進する。

1. 事業活動において生じる環境負荷の低減を図るため以下の取り組みを行う。
    (1) 二酸化炭素排出量の削減
    (2) 廃棄物排出量の削減と再資源化の推進
    (3) 水使用量の削減
    (4) 化学物質の適正使用と管理
    (5) 地域貢献活動の推進
2. 事業活動にかかわる法規制及びその他協定等については、これを遵守する。
3. 技術的、経済的に可能な範囲で、目的・目標を設定し、定期的なレビューを行い継続的改善に努める。
4. 教育活動を通して、この環境経営方針を組織及び関連する協力会社に周知徹底すると共に、 一般の人にも公開する。

2015年10月21日 制定
2019年10月21日 改訂
2022年8月30日 改訂
株式会社クリーン開発
代表取締役　松本信吾

実施体制



	役割・責任・権限
代表取締役	・環境経営全般に責任と権限を持つ ・環境経営方針の作成、見直し及び従業員に周知する ・環境管理責任者を任命する ・環境への取組を実施するための人材、設備、費用を準備する ・EA21の取組に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムの構築、実行、管理をする ・上記の結果を代表者に報告する ・3ヶ月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実行状況を確認する
EA21事務局	・環境管理責任者の補佐し、EA21文書及び記録類の作成、維持管理を行う
部長	・環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部員に周知する ・自部門の環境経営目標、環境経営計画の達成状況等を把握する ・自部門で発生した問題点の是正、予防処置を実施する ・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・自部門の部員に対する教育訓練を実施する
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

4.環境経営目標

中期環境経営目標：2020年度を基準年として2023年度までを中期環境経営目標として設定する。

対象目標		単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
			(2020.11～2021.10)	(2021.11～2022.10)	(2022.11～2023.10)	(2023.11～2024.10)
			基準年度	基準年度比	基準年度比	基準年度比
			(実績)	-1%	-2%	-3%
二酸化炭素排出量削減		kg-CO_2	252,449.6	249,925.1	247,400.6	244,876.1
		kg-CO_2/百万円	827.7	819.4	811.1	802.9
電気使用量削減		kWh	9,675.0	9,578.3	9,481.5	9,384.8
化石燃料使用量削減	軽油	L	90,158.0	89,256.4	88,354.8	87,453.3
	ガソリン	L	7,096.0	7,025	6,954	6,883
	LPG	kg	7.250	7.178	7.105	7.033
水使用量削減		m3	297	294	291	288
自社一般廃棄物リサイクル率の向上		%	49.4	50.4	51.4	52.4
自社産業廃棄物リサイクル率の向上		%	88.7	89.7	90.7	91.7
地域貢献活動の推進		回	2	2	2	2

①電気使用量の二酸化炭素排出係数は2019年度九州電力調整後係数
　0.371kg－CO_2/kWhを使用する。

②廃棄物については、適正な分別を行ないできる限りリサイクル率の向上に努める。

③化学物質は車両傷補修用塗料で年1回程度しか使用しない極少量のみのため、
　適正な管理・使用に努める。

④一般廃棄物リサイクル率の向上はリサイクル率＝(全量―可燃ごみ―不燃ごみ)/全量×100とする。
　(数値は環境負荷の自己チェックによる)

⑤産業廃棄物リサイクル率の向上は再資源化量÷総排出量×100とする。
　(数値は環境負荷の自己チェックによる)

5. 環 境 経 営 計 画

取組項目	責任者	実施部署	活動内容	評価
電気使用量の削減	山田	庶務部	エアコンの適切な温度管理をする 不在時、昼休み時間の消灯 エアコンフィルタの定期清掃 OA機器等の省エネルギーモードの活用	○
ガソリン（営業車） 使用量の削減	松本	営業部	アイドリングストップの推進 エコドライブの推進 効率的なルートの選定	○
ガソリン・軽油（現場） 使用量の削減	惣田	業務推進部	アイドリングストップの推進 エコドライブの推進 効率的なルートの選定	○
水使用量の削減	山田	全部署	節水の呼びかけ ホース先端にワンストップノズル等を 取付ける 漏洩点検 適切な洗車の回数	○
一般廃棄物リサイクル率 の向上	山田	庶務部	裏紙の使用 ミスコピーの防止 分別の徹底	○
産業廃棄物リサイクル率 の向上	惣田	業務推進部	現場での分別の徹底	○
化学物質の管理	惣田	業務推進部	安全データシートの入手と内容の周知 適正使用に努める	○
グリーン購入の推進	山田	庶務部	グリーン商品購入の推進	○
地域貢献活動の推進	松本	全部署	地域ボランティア活動への参加 会社、車両置場等周辺の清掃作業	○

○：よくできた　　△：改善の余地あり　　×：できなかった

6. 環境経営目標の実績

2022年度（取組期間：2022.11～2023.10）の環境経営目標と実績

※電気使用量の二酸化炭素排出係数は2019年度九州電力調整後係数0.371kg－CO_2/kWhを使用

対象目標		単位	2020年度	2022年度	2022年度		評価
			(2020.11～2021.10)	(2022.11～2023.10)	(2022.11～2023.10)		
			基準年度	基準年度比	実績	達成度	
			(実績)	-2%			
二酸化炭素排出量削減		kg-CO_2(総量)	252,449.6	247,400.6	230,235.2	107.5%	○
		kg-CO_2(百万円)	827.7	811.1	888.9	91.3%	△
電気使用量削減		kWh	9,675.0	9,481.5	7,433.0	127.6%	◎
化石燃料使用量削減	軽油	L	90,158.0	88,354.8	83,598.9	105.7%	○
	ガソリン	L	7,096.0	6,954	5,069.6	137.2%	◎
	LPG	kg	7.250	7.105	10.30	69.0%	×
水使用量削減		m3	297	291	261	111.5%	◎
自社一般廃棄物リサイクル率の向上		%	49.4	50.4	57.7	114.5%	◎
自社産業廃棄物リサイクル率の向上		%	88.7	89.7	83.2	92.8%	△
地域貢献活動の推進		回	2	2	2	100.0%	○

※達成度が110%以上は◎、100%以上は○、80%以上は△、80%未満は×。

※リサイクル率については”環境負荷の自己チェックシート”を参照

7.環境活動の取組み結果と評価ならびに今後の取組み

(1)2022年度（取組期間：2022.11～2023.10）は、全員一丸となって以下のことに取り組んだ。

①二酸化炭素排出量の削減では、総量では目標達成できて原単位では達成できなかった。
しかしながら前年度の実績より向上しているので続けて活動していく。

②電気使用量の削減では、目標を達成することができた。今後も活動を続けていく。

③化石燃料の削減では、軽油とガソリンの使用量については目標達成できた。
LPGについては目標達成できなかった。様子を見ながら活動を続ける。

④水使用量の削減は、仕事量が減ったことも要因があるのか目標達成できた。
このまま活動を続ける。

⑤一般廃棄物のリサイクル率については目標達成できた。産業廃棄物のリサイクル率については目標達成できなかった。数値的には90％以上なのでこのまま活動を続ける。

⑥地域貢献活動の推進は、積極的に地域貢献活動に参加し、目標を達成できた。

(2)今後の取組み：二酸化炭素排出量、電気、水使用量、廃棄物のリサイクル率の向上等について成果をあげている。継続して目標達成できるよう環境に配慮した活動を意識して取り組む。

取組項目	活動内容	今後の取組
電気使用量の削減	エアコンの適切な温度管理をする 不在時、昼休み時間の消灯 エアコンフィルタの定期清掃 OA機器等の省エネルギーモードの活用	目標達成できたので今後も継続して活動する。
ガソリン（営業車）使用量の削減	アイドリングストップの推進 エコドライブの推進 効率的なルートの選定	目標達成できたので今後も継続して活動する。
ガソリン・軽油（現場）使用量の削減	アイドリングストップの推進 エコドライブの推進 効率的なルートの選定	目標達成できたので今後も継続して活動する。
水使用量の削減	節水の呼びかけ ホース先端にワンストップノズル等を取付ける 漏洩点検 適切な洗車の回数	目標達成できたので今後も継続して活動する。
一般廃棄物リサイクル率の向上	裏紙の使用 ミスコピーの防止 分別の徹底	目標達成できたので今後も継続して活動する。
産業廃棄物リサイクル率の向上	現場での分別の徹底	目標達成できなかったが今後も継続して活動する。
化学物質の管理	安全データシートの入手と内容の周知 適正使用に努める	継続して活動する。
グリーン購入の推進	グリーン商品購入の推進	継続して活動する。
地域貢献活動の推進	地域ボランティア活動への参加 会社、車両置場等周辺の清掃作業	継続して活動する。

8.環境関連法規への違反・訴訟等の有無

当社では環境関連法規制等の遵守評価を定期的に行っており、その評価の結果環境関連法規制等の違反はありませんでした。また、指摘、訴訟、苦情等もありませんでした。

関係法令	チェック項目	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	運搬車両の表示、マニフェストと許可証の写し等の携帯	○
	産業廃棄物収集運搬業の許可	○
	マニフェスト交付状況の報告	○
	マニフェストの管理、保管	○
	契約書の作成、保管	○
	特別管理産業廃棄物収集運搬業の許可	○
	一般廃棄物収集運搬業の許可	○
	帳簿の記載	○
建築基準法	建築物の除却届提出	○
建設業法	建設業の許可	○
建設リサイクル法	解体工事(80㎡以上)、土木工事(請負金額500万円以上)対象 届出に係る書面の交付と説明	○
	再資源化等完了時の書面による報告	○
	帳簿の記載	○
特定家庭用機器再商品化法	管理票の発行、保管	○
大気汚染防止法	届出対象特定工事の届出の提出	該当なし
	石綿含有建材の有無の事前調査、説明等	○
	石綿含有建材の除去等作業結果の報告、記録、保存	○
フロン排出抑制法	注文者に対して書面の交付、説明	○
	フロン回収依頼書の発行、引取証明書の保管	○
	対象機器の点検・整備履歴の記録、保存	○
騒音規制法 熊本県生活環境の保全等に関する条例	特定建設作業となる作業の届出 騒音特定施設設置（空気圧縮機)2.2kW以上7.5kW未満　届出	該当なし
振動規制法 熊本県生活環境の保全等に関する条例	特定建設作業となる作業の届出 振動特定施設設置（空気圧縮機)7.5kW以上　届出 (空気圧縮機)2.2kW以上7.5kW未満　届出	該当なし
水質汚濁防止法	公共用水域の水質保全の生活排水対策	○
浄化槽法	浄化槽の維持管理及び検査、清掃の実施	○

9.代表者による評価と見直し

(1)全体評価

今年度はほとんどの項目で達成できた。新型コロナウイルスが5類に移行し平常に戻りつつあること、社員数の減少や仕事量が減少したことも各項目で目標達成できた要因にあると思われるので様子を見ながら活動を継続していく。

(2)見直し

環境経営計画、環境経営方針、環境経営目標、実施体制について見直した結果

来年度も変更せず活動していくが、環境経営目標の各項目で目標達成できるように努める。

令和 6年 1月 26日

代表取締役　　松本 信吾

10.資料

○地域貢献活動

環境出前講座　　2023年6月19日

清掃活動　　2023年6月5日